

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

学校評価表作成について変更した点は朱書きしています

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	唐津市立西唐津小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な学力向上対策により、学年が上がり担当担任教師が代わっても見通しを持って学習を進めることができた。ICTを効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に進め、「主体的、対話的で深い学び」の視点での授業改善に努める。 ・児童の心の交流を図る外部人材を活用した体験的学習等の積極的な取り組みにより、学校目標「ふるさと『西唐津』を愛し、心豊かに、たくましく生き抜く児童の育成」に近づいている。次年度も異学年交流や学年間交流を活性化させ、児童の豊かな心の育成に努める。 ・薬剤師による防煙教室と薬物乱用防止教室、学校歯科医と連携した感染症対策、栄養教諭と連携した食育の取組など、人的物的資源を活用し健康安全教育を充実させることができた。次年度も、地域や学校内外のチーム学校の人材を的確に組み合わせ、教育効果を高める。 ・今年度新たに取り組んだオンライン社会科見学や世界各地、沖縄の学校とのオンライン交流等を広げ深めて、あらゆる教育活動において、ICTを活用して「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる取組を推進し、「学びの継続・発展」を図る。

2 学校教育目標	「人・もの・こと」に関わりを持ち 心豊かに育つ西唐津っ子 ～にこ・きび・はき・どん～
----------	--

3 本年度の重点目標	<p>知：やる気⇒①子どもが活躍する授業づくり ②基礎基本と学習習慣の定着 ③学習規律と学習意欲の確立 ④新時代に対応した教育の確立 ⇒『学力向上に積極的に取り組みます』</p> <p>徳：ほん気⇒①温かい学校・学級づくりの推進 ②基本的な生活習慣の育成 ③特別支援教育の充実 ④体験活動の充実 ⇒『「人・もの・こと」に関わる心を育てます』</p> <p>体：げん気⇒①体づくりの推進 ②健康指導の充実 ③食育の充実 ④危機管理体制の確立 ⇒『安全・安心な学校づくりに取り組みます』</p> <p>④家庭・地域・保小中・関係機関等との連携を推進する。「地域とともにある学校～チーム西唐津の推進～」</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善による学力向上対策。 ○補充学習による基礎基本の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ○個別最適な学びと協働的な学びを推進する唐津の学びスタイルチェックシートによる振り返りで、平均3点以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的校内研修会等で、学びスタイルの進捗状況を確認する。また、他の学年と進捗状況を共有し、更なる取組の促進を図る。 							教務・研究主任
	<ul style="list-style-type: none"> ○教師一人ひとりが、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を推進する授業づくり7つのポイント」に則り、これまで通りの授業改善を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●授業づくり1・2・3チェックシートで「ステップ3(深化)」の数を3つ以上とする。 ○学びのスタイルチェックシートすべての項目で「3」以上とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の教師の思いを大切にしながら、足並みを揃えるところは揃え、学校全体として授業力・教育力を高めていく。 							
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> ○「出会って、かかわって、つくりあげよう～尊重し合う友だち関係づくりをめざして～」をテーマに豊かな心の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「友だちに対して思いやりの気持ちをもって優しくしていますか。」について、肯定的な回答をした児童が90%以上とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割り活動やボランティア活動を通してお互いを思いやる経験を積めるようにする。 ・児童の善い行いに気づいた教師・児童が「ほめほめカード」を書いて掲示したり、全校放送したりすることで児童のよさを認める温かい雰囲気作りをする。 							特活部 人権・同和教育担当者 道徳教育推進教員
	<ul style="list-style-type: none"> ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実とともに「いじめの見逃し」の体制構築。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめアンケートや毎月初めの「西小アンケート」の結果をもとにいじめの早期発見と見逃しに努め、担任、生活主任、SC、SSW等と連携して迅速・適切に解決に当たり、再発防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の児童観察や毎月の「よい子アンケート」等で、児童の状況・状態の変化に気付く。 ・気になる児童については職員同士で密に情報交換を行う。 ・必要に応じてSCやSSWとも連携し、よりよい方向性を見出す。 							
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●児童生徒が夢を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとする教育活動の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童(小学6年生)85%以上とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々との交流を通して学ぶ体験活動を各学年、年3回以上実施する。 ・キャリアパスポートを計画的に活用する。 							教頭 教務
	<ul style="list-style-type: none"> ○「心身ともにたくましい西唐津の児童の育成」をテーマに運動習慣の改善と定着化。 ○運動前後における自己の健康管理の意識を確実にもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○外遊びや体力作りに関する児童用アンケートを実施し、その達成率を90%以上にする。 ○運動前後における自己の健康管理の意識を確実にもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育委員会からの放送や担任からの呼びかけを継続し外遊びを奨励する。 ・体育学習の工夫(カリキュラムの工夫)を行い、体育の授業や体を動かすことが好きな児童を増やす。とともに、健康観察カードによる健康管理に努める。 							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」をテーマに学校における食育を推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「健康に食事は大切である」と考える児童90%以上とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早寝、早起き、朝ご飯の取り組みを家庭と連携して行い、望ましい食生活を身に付けさせる。 ・定期的に食生活アンケートを実施する。 							保体部 給食指導担当者 栄養教諭
	<ul style="list-style-type: none"> ●時間外在校等時間の削減 ○業務の効率化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間(月45時間)の上限を遵守する。 ○個人ではゴールと優先順位、組織としては行事の精選と業務の縮減に取り組む、効率化が進んだという職員を70%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週金曜日を定時退勤日とし、全職員で意識し、声を掛け合う。 ・校務サーバーを整理し、これまでの文書データを効果的・効率的に活用できるようにする。 ・校務を整理し、諸問題に対してチームとして対応できるようにする。 							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの充実と環境の整備。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各学期初めに、児童の活動が見える教室環境を整える。 ○2学期以降に、特殊音節などのアセスメントを行い、必要な支援につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教室のまなびやすい環境作りを進める。特に特別支援学級においては、仕切り板の活用など個に応じた場の設定を行う。 ・アセスメントをもとに、必要な支援につなげていく。 							特別支援教育 コーディネーター
○地域連携・幼保小中連携	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校9年間の一貫した授業形態による小中連携の推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「授業づくり1・2・3」を活用した主体的・対話的な学びを取り入れた授業を実施したと答えた教員80%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校との連携は9年間というスパンを見据えながら計画を立て、内容の充実も図っていく。 ・年3回以上、小中交流会を実施し、「授業づくり1・2・3」を活用した主体的・対話的な学びを取り入れた授業を公開する。 							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
----------------	---